

地域特性を活用した「多能工型」研究支援人材養成拠点

(共同実施大学／茨城大学・宇都宮大学・群馬大学 連携大学／埼玉大学)

シンポジウム

「研究支援活動が大学内に定着していくプロセスを探る」

— 大学改革と研究支援・・・正のスパイラルを目指して —

日時 平成28年12月6日(火) 13:30~17:00
場所 発明会館 地下ホール (東京都港区虎ノ門2-9-14)

総合司会 立見 さおり (群馬大学 研究・産学連携推進機構 URA室 リサーチ・アドミニストレーター)

13:30~13:35

1. 開会挨拶

和泉 孝志 (群馬大学 理事・副学長【研究支援人材育成コンソーシアム運営協議会主査】)

13:35~13:40

2. 来賓挨拶 (文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課) (予定)

13:40~14:25

3. 基調講演

「URAに求められる資質とは何か？」

梶谷 誠 (電気通信大学 学長顧問)



14:25~14:55

4. 「多能工型」研究支援人材育成コンソーシアム” 参加大学URAの活動紹介

早川 晃一 (群馬大学 研究・産学連携推進機構 URA室 リサーチ・アドミニストレーター)

間宮 るい (茨城大学 大学戦略・IR室 URAオフィス URA)

倉山 文男 (宇都宮大学 地域共生研究開発センター URA室 リサーチ・アドミニストレーター)

奥津 佐恵子 (名古屋市立大学 URAオフィス URA/特任助教)

— 休憩 10分 —

15:05~16:35

5. パネルディスカッション

「研究支援人材の学内への活動の浸透はどのようにあるべきか」

ミッションの異なる各大学のURAが、その活動を通して大学内での信頼と認知度をどのように獲得してきたか、そのプロセスやそれに必要な要素を探る。

パネリスト： 白井 哲哉 (京都大学 学術研究支援室(KURA)
リサーチ・アドミニストレーター)

石川 綾子 (名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
リサーチ・アドミニストレーター/輸出管理マネージャー)

伊藤 慎一 (秋田大学 産学連携推進機構 特任講師/ URA)

三柴 由江 (宇都宮大学 地域共生研究開発センター URA室
リサーチ・アドミニストレーター)

コメンテーター：梶谷 誠 (電気通信大学 学長顧問)

モデレーター：伊藤 正実 (群馬大学 研究支援人材育成コンソーシアム室長)

16:35~16:55

6. 「多能工型」研究支援人材育成コンソーシアムの取組紹介

伊藤 正実 (群馬大学 研究支援人材育成コンソーシアム室長)

16:55~17:00

7. 閉会挨拶

尾崎 久記 (茨城大学 理事・副学長【研究支援人材育成コンソーシアム運営協議会副主査】)

終了後 情報交換会 (場所：発明会館7階、会費制) (17:15~18:15)

参加を希望される方は、裏面参加申込書によりFAXまたはEmailにて平成28年11月27日までにお申し込みください。



趣 旨

URAを含む研究支援人材の活動は、研究プロジェクト構築から競争的研究資金の申請書作成支援、コンプライアンスへの対応、地域連携プロジェクトの構築等、非常に多岐にわたる。特に、実際の申請書作成支援は、“てにをは”など誤字脱字の修正から申請内容に踏み込んだ貢献まで内容は多様である。

いずれの場合も、大学教員との信頼関係が必要とされ、研究支援人材の持つ知識に加え、個々の教員から理解と信頼を得ることが、こうした業務を全うする上で極めて重要である。極論すれば、これらの業務を担う研究支援人材は、教員や事務職員とは異なる第3の職種として、大学教員の理解と信頼に基づく「研究を運営する新たな試み」のパートナーとして位置づけられるかもしれない。

しかし、日本ではURAが政策的に導入されて間もなく、業務の在り方や育成方法が明確な形で定まっていない。そこで、本シンポジウムでは、こうした活動のベースとなる大学内の関係構築を主なテーマとすることにした。現場のURAが大学内での理解を得て業務を全うできる方策やプロセスを知ることは、現場で実務を担うURAにとって非常に意義がある。

赴任して日の浅いURAの持つ課題や悩みは、職業としての主なキャリアが大学研究者経験というURA管理者には認知しえない部分もあるかもしれない。また、こうした問題は組織的に取り組み得るものなのか、あるいは個人の実績の蓄積が大学内での人的関係の質的な変化につながるのかなどについて、具体的な事例を踏まえて議論したい。

【会場案内】

会 場
アドレス
アクセス

発明会館 (東京都港区虎ノ門 2-9-14)

<http://hatsumeikaikan.com/>

- ・東京メトロ 銀座線 虎ノ門駅 3番出口/徒歩5分
- ・東京メトロ 日比谷線 神谷町駅 4番出口/徒歩6分
- ・東京メトロ 千代田線 霞が関駅 A13番出口/徒歩10分

下記参加申込書に必要事項をご記入の上、送信してください。
WEBからも申込ができます。

<http://www.kokuchpro.com/event/6db3e471750417606def8d128ddb4517/>



●参加者●

研究支援人材養成拠点シンポジウム申込書

申込日：平成 年 月 日

情報交換会(会費 2,000円)

(どちらかに○をつけてください)

(ふりがな)
お名前

出席 欠席

(ふりがな)
お名前

出席 欠席

〒
住 所

Email:
FAX:

所属機関名

送付先 「多能工型」研究支援人材育成コンソーシアム事務局
〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目5-1 群馬大学研究・産学連携推進機構内
TEL: 0277-30-1100 FAX: 0277-30-1192
Mail: kenshien@ml.gunma-u.ac.jp
「多能工型」研究支援人材育成コンソーシアムのホームページ
<http://www.ccr.gunma-u.ac.jp/kenshien/>